

あなたに  
笑顔  
を  
届けたい!

行田軽トラ朝市  
毎月元気に開催中



毎月第3日曜日、午前8時から10時まで産業文化  
会館南側芝生広場で開催している「行田軽トラ朝  
市」は、安心・安全・新鮮でおいしい行田産の農  
産物を農家の方々が直接販売しています。  
鮮やかな黄色の旗と、<sup>はっぴ</sup>緑色の法被が目印です。





# 行田で採れたものを 行田で食べる



## 地産地消のメリット

### 1 鮮 度

鮮度が命の農産物を一番いい状態で食べるには、採れたてが一番。その採れたての味に最も近づけるのはその土地で食べることです。

### 2 安心・安全

産地や生産者の顔が分かることは一番の安心となります。

### 3 旬を知る

その季節にその場所でできるもの、それがすなわち旬のものです。地産地消では農作物本来の旬を自然に感じることができます。

### 4 エ コ

地産地消は物の移動距離が短いため、環境にやさしくエコなのです。

## 自慢の農産物を、 直接お客さまに届けたい

最近、スーパーマーケット

軽トラの荷台には色とりどりの野菜や果物、花など旬の農産物がずらり。「採れたての新鮮でおいしい野菜だよ」今月は何かおすすめですか」毎月第3日曜日の朝、行田軽トラ朝市が行われる会場からは、農家の方々の元気な掛け声とお客さんの楽しそうな話し声が聞こえます。

生産者から直接買い物ができるとあって、季節のおすすめを尋ねたり、試食をしたりするなど、買い物と売り手が直接交流できるのが行田軽トラ朝市です。

に行けば多種多様な農産物が並び、いつでも、どこのもので買えることができるようになりました。一方で、その土地で採れた旬のものを、その土地で消費する「地産地消」という考えも次第に広まりつつあります。

行田軽トラ朝市は「真心を込めて育てた自慢の農産物を、直接お客さまにお届けしたい」という強い思いから、農家の方々が立ち上がり、平成22年に不定期ながらも初めて開催されました。軽トラの荷台がそのまま店になるという気軽さから、当時ブームとなっていた「軽トラ市」という形を採用したので

平成23年度からは定期開催となり、次第に現在の行田軽トラ朝市のスタイルを確立。まだまだ小規模ですが、着実にファンを増やし、今では毎回足を運ぶ方もいます。

## 生産者にインタビュー



山本 和良さん(埼玉)  
(行田軽トラ朝市実行委員長)

23歳のころから花の栽培に携わる園芸のプロ。平成25年度から実行委員長を務める。

「行田の人たちに、行田の土と水で育った野菜を食べてほしい、花を見てほしい」それが軽トラ朝市を開催したきっかけでした。販路を増やし、皆さんの手に取ってもらえる機会を増やすことは、地産地消の促進にもつながります。また、野菜を畑で収穫してから店に並ぶまでの時間が短いので、自信を持って「新鮮でおいしい商品」を提供できます。

行田軽トラ朝市の魅力は、何といたっても生産者とお客さんが直接話せること。私たち生産者は、丹精込めて作った農産物についてPRしたり、お客さんから質問されたりすることが本当にうれしいです。調理の仕方や選び方ももちろん「トマトはどうやってできるの」などの簡単な質問でも構いません。買いに来なくても、気軽に話しに来てほしいと思います。

また、スーパーマーケットのように一年中同じ野菜が買えるわけではありませんが、春はイチゴ、夏はナスやキュウリなど、旬の農産物が並ぶので、季節の移り変わりを楽しむこともできますね。時には農産物以外にも、おこわやジャムなどの二次加工品が販売されることもあるので、ちょっとしたサプライズ感も味わえるんですよ。

「日曜日は少し早起きして行田軽トラ朝市に出掛け、新鮮な野菜を家で味わったり、きれいな花を眺めたりして、その日一日を心身ともに健康に過ごす」行田軽トラ朝市を通して市民の皆さんに行田の農業について関心を持ってもらおうとともに、そんな楽しみ方を提供できたらうれしいですね。